

半田市地域交流拠点整備及び運営に係る民間活力導入可能性調査業務委託
公募型プロポーザル方式評価基準

1 審査方法及び審査基準

(1) 評価方法

- ① プロポーザル審査委員会が企画提案書等に記載された内容及びプレゼンテーションと質疑応答の内容により、(2)の審査基準に基づき審査を行う。
- ② 審査は、各委員が独立して点数を付け、評価点は各審査員1人あたり100点満点とする。評価点合計数が最も高い参加事業者を優先交渉者として契約の交渉を行う。ただし、その者と合意に至らなかった場合には次に評価点合計数の高いものから順に交渉を行う。
- ③ プロポーザル審査委員会の評価点合計数が満点の(委員数×100点)60%に満たない参加事業者と契約することはしない。
- ④ 最も高い評価点合計数を獲得した参加事業者が2者以上あるときには、(2)⑤及び⑥の評価点の合計が最も高い点数を獲得した参加事業者を優先交渉者とする。なお、(2)⑤及び⑥の評価点の合計が同点の場合は、プロポーザル審査委員会の合意により決定する。

(2) 審査基準

評価項目		評価の視点	評価点
業務体制	① 業務実績	✓ PPP/PFI、官民連携、民間活力導入可能性調査等の同種業務の実績が十分か ✓ 類似規模・類似分野の自治体案件の経験があるか ✓ 実績内容が本業務の特性（候補地比較、事業スキーム検討、リスク分析等）に適合しているか	基準点×2
	② 執行体制	✓ 管理技術者・照査技術者・担当技術者の資格・経験が仕様書の要件を満たしているか ✓ 役割分担が明確で、業務遂行に必要な知識・ノウハウ・ネットワークを有しているか ✓ 業務工程表が現実的で、スケジュールの実現性が高いか ✓ 市との協議・調整体制が適切に構築されているか	基準点×1
	③ 理解度	✓ 仕様書の目的（民間活力導入の可否判断、事業スキーム選定、持続可能な運営モデルの構築に向けた財政負担の最適化等）を正しく理解しているか ✓ 地域交流拠点の課題や半田市の状況を踏まえた分析視点が示されているか ✓ 本事業に対する意欲・熱意が感じられるか	基準点×1
提案内容	④ 候補地比較の妥当性	✓ アクセス性、インフラ整備コスト、法規制、需要等の比較観点が適切か ✓ 立地差が事業性やスキーム選定に与える影響を論理的に整理しているか	基準点×1

		✓ 分析手法（データ収集、評価軸設定）が妥当か	
	⑤民間活力導入範囲の整理方法	✓ 施設整備・維持管理・運営の役割分担案が複数提示されているか ✓ 各案の効果・リスク・制度上の留意点が明確に整理されているか ✓ 地域事業者の参画形態（テナント、委託、共同運営等）の検討が十分か ✓ EOI 方式等の民間主体型関与の可能性を適切に評価しているか ✓ 行政側が整えるべき条件（情報提供、制度整備等）が示されているか	基準点×2
	⑥PPP/PFI 等の事業手法比較の妥当性	✓ PPP/PFI（BOT、BOT、EOI 等）と従来方式の比較観点が適切か ✓ 官民役割分担、資金調達可能性、財政負担、事業期間等の分析が妥当か ✓ 収支シミュレーションの考え方が合理的か ✓ 事業スキーム図が分かりやすく、実現性があるか	基準点×2
	⑦市場調査（民間ヒアリング等）の実施方法	✓ 事業概要書の作成方針が適切か ✓ 民間事業者ヒアリング・アンケートの対象選定が妥当か ✓ 参画意欲、必要収益、行政支援、リスク分担等の把握方法が具体的か	基準点×3
		✓ 金融機関ヒアリングの位置づけが明確で、資金調達可能性の検証につながるか ✓ 地域事業者向け説明会の実施方法が適切か ✓ VFM・LCC 比較の手法が合理的か	基準点×3
	⑧リスク分担分析の方法	✓ リスクの洗い出しが網羅的か（整備・運営・維持管理等） ✓ 発生可能性・影響度の評価方法が妥当か ✓ 市・民間の負担区分の理由が明確か ✓ リスク低減策が具体的で実効性があるか ✓ 金額換算可能なリスクの評価方法が適切か	基準点×3
	⑨ 事業スケジュール・工程管理	✓ 公募段階、整備段階、運営段階のスケジュールが現実的か ✓ 業務工程表が仕様書の内容と整合しているか ✓ 市との協議・報告体制が適切に組み込まれているか ✓ 想定課題への対応方針が示されているか	基準点×1
その他	⑩見積額	✓ 提案内容に対して費用が妥当か ✓ 内訳（工数・単価等）が合理的に説明されているか ✓ 過度な低価格・高価格になっていないか	基準点×1